

1 事業概要

事務事業名	環境技術開発センター運営事業	課名	工業課	事業No.	227
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム2017	
				飯田市版総合戦略	
法令・例規等					
事業目的	対象	起業、研究開発に取り組む者			
	意図	起業や研究開発を支えるための事業化に向けたサポート及び施設の管理運営			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	施設管理及び運営を行うとともに、研究開発から事業化まで統合的に支援するインキュベーターマネージャーを配置するとともに、創業支援や共同研究開発等を支援しました。		環境技術開発センター運営事業費				5,080	
			その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
	新規創業者数		社	1	0			
	入居企業数		社	4	4			
	開発件数		件	5	3			
29年度 決算 (千円)	予算額		5,516	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額		5,080	(そ) 環境技術開発センター入居企業共益負担金 1,525千円				
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 桐林環境産業公園駐車場使用料 1,580千円				
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	3,105					
一般財源		1,975						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	13	2	5,516	5,080	環境技術開発センター運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		地域内外からの施設利用を促進するために、効果的な情報発信や誘致活動を実施しました。また、インキュベーション施設の位置づけから、入居企業に対する新規創業等について、継続的かつ統合的なサポートが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		インキュベーションマネージャーによる継続的な支援をはじめ、新規創業に向けた自立化の支援を充実させることが必要です。また、産学官金連携や異業種連携の強化によるトータル的な支援活動が必要です。							
次年度に向けての取り組み		大学、研究機関や中核支援機関との連携強化や異業種との連携を促進させることにより、新規創業や共同研究を支援します。							